

瀬戸内

撥弦楽器フェスティバル 2026

4月11日(土)

顔見世
コンサート PM1:00 開演

入場無料

マンドリンアンサンブル ソナチネ (香川)
プリモ マンドリンアンサンブル (香川)
美馬マンドリンクラブ (徳島)
高松市民マンドリンクラブ (香川)
アンサンブル ブレイズ (東京&香川)
マンドリンアンサンブル源内 (香川)
こじまあやこマンドリンアンサンブル (東京)
マンドリンアンサンブル Ritter (岡山)
La Banda de gran Rio (広島)
札幌プレクトラム・アンサンブル (北海道)
梶川千明マンドリンアンサンブル (東京)
マンドリンアンサンブル Bonito (高知)
ギタートリオ ぱりいず (富山&東京&香川)
マンドリンデュオ・シエスタ (兵庫)
デュオ モモンガ (東京)
Futa Ritter (岡山)
キルキンチョス (チャランゴ&ギター) (愛媛&香川)
門田恵子 (マンドリンソロ) (広島)
篠原杏莉 (マンドリンソロ) (埼玉)
瀬戸内フェスティバルマンドリンオーケストラ
(全国)
(順不同)

場 所

サンポートホール高松
第1リハーサル室

高松シンボルタワー内 ホール棟7階
高松市サンポート2番1号
TEL 087-825-5000
アクセス: JR 高松駅より徒歩3分
ことடன்高松築港駅より徒歩5分

4月12日(日)

ゲスト
コンサート I・II

通し券 5,000 円

ゲストコンサート I AM11:00 開演
入場料 3,000 円 (高校生以下 1,000 円)

○撥弦楽器によるクラシック音楽と民族音楽
マンドリン: 宮武省吾 (香川)
梶川千明 (埼玉)
児嶋絢子 (東京)
ギター: 藤元高輝 (東京)
チェンバロ: 大山まゆみ (香川)
民族楽器: さかいじゅん (東京)
さかいしほ (東京)
(from GypsyPot)

ゲストコンサート II PM 2:00 開演
入場料 3,000 円 (高校生以下 1,000 円)

○ギターとマンドリン、歌による演奏(新曲委嘱初演)
ギター: 藤元高輝 (東京)
マンドリン: 佐古季暢子 (広島)
歌(ソプラノ): 溝淵加奈枝 (岐阜)

撥弦楽器とは、ギターやマンドリン、チャランゴ、ウード、チェンバロなど、指や爪、ピックなどで弾いて音を出す弦楽器です。このフェスティバルは、撥弦楽器を演奏するアマチュア団体とプロの演奏家が全国から一同に集い交流する音楽イベントで、多くの演奏家がサンポートホール高松に集まり、様々な撥弦楽器の演奏を楽しむことができます。

※ご来場の皆様へ: 両日ともあなぶきアリーナ香川においてコンサートが開催されます。駐車場は大変混雑が予想されますので、公共交通機関をご利用くださいませ。

主催: 瀬戸内撥弦楽器フェスティバル実行委員会
後援: 高松市、一般社団法人 日本マンドリン連盟中四国支部
奏でる! マンドリン

協力: フレット楽器ヤマサキ、嶋田ミュージック、サウンド AI
問い合わせ先: tel 090-3780-7274 代表 宮武
mail: med.shogo@ezweb.ne.jp

<ゲストコンサート出演者>

宮武省吾 (マンドリン)



1960年香川県高松市出身。最初、ギター、後に高松第一高等学校にてマンドリンを始める。1980年より川口雅行氏に師事。1983年渡欧。ドイツ、ケルン音楽大学ヴッパータール校にてマルガ ヴィルデン＝フェスゲン女史に師事。ソリスト、室内楽、指揮、合唱他、オペラ客演、新曲初演等、内外で幅広い活動を行う。1992年帰国。高松を中心に神戸、大阪、東京などで演奏のかたわら、ヨーロッパの新曲紹介に努める。1994年より、瀬戸内撥弦楽器フェスティバルを主宰。



さかい じゅん (民族楽器) さかい しほ (ヴァイオリン) from GypsyPot

GypsyPot は2001年結成の民族弦楽器研究家・演奏家のユニット。2004年より東京都認定ヘンアーティストとして、世界の音楽と楽器の楽しさを伝える活動をしています。たくさんの民族弦楽器を使って、楽器の見た目の面白さや美しさ、音色の珍しさや違いを体験していただきながら、グッとくる音楽や思わず踊りだしたくなるような、楽しい曲を演奏して、皆さんを「音の世界旅行」へご案内します。

梶川千明 (マンドリン)



群馬県太田市出身。マンドリン独奏を竹内郁子氏に師事。2002年第18回日本マンドリン独奏コンクール第1位。2008年ドイツの桑原康雄マンドリン独奏コンクールのセミファイナルに出場。ソロリサイタルや室内楽コンサート、管弦楽団のエキストラとして参加するなど幅広く演奏活動を行っている。イケガク、イグチミュージックスクールにてマンドリン講師をつとめ、後進の育成にあたっている。

児島絢子 (マンドリン)



2014年ドイツ国立ハンブルク音楽演劇大学マンドリン科卒業。同時にディプロマを取得。(Diplommusikerziehung) 2017年より、洗足学園音楽大学講師(マンドリン専攻)。2011年全国マンドリン独奏コンクール優勝。2012年ラファエレ・カラーチェ マンドリン独奏コンクール3位入賞(イタリア)。2010年から2012年までベルリン州立音楽学校にてマンドリン科講師を歴任。2013年ギターの槐智明と《DuoAlster》を結成。これまでに5枚のCDを発売している。現在、弦楽器のイグチ・イケガク等でマンドリン講師として後進の育成にあたっている。こじまあやこマンドリン教室主宰。Steffen Trekel、越智敬、片岡道子、宮田蝶子、梶川千明の各氏に師事。

佐古季暢子 (マンドリン)



広島県出身。2003年エリザベト音楽大学マンドリン専攻第1期生、2009年同大学院修了、渡独。2013年ケルン音楽大学ヴッパータール校卒業。現在、マンドリンの新たな可能性の探求に力を注いでおり、特に現代音楽の委嘱初演、再演や紹介に努めている。アンサンブルノマドや現代音楽アンサンブルなどにも意欲的に参加し、日本をはじめ各国で演奏活動を行っている。2013年4月より、エリザベト音楽大学マンドリン科講師。川口雅行、Caterina Lichtenberg氏等に師事。

藤元高輝 (ギター)



1992年東京都北区出身。3歳より父からギターの手ほどきを受ける。これまでに村治昇、新井伴典、荘村清志、江間常夫の各氏に師事。同時に国内外のギタリストのマスタークラスを多数受講。作曲を塩崎美幸、植田彰、伊左治直の各氏に師事。指揮を本多優之氏に師事。2007年フォンテックよりCD「バルトーク/ルーマニア民族舞曲」を発表。2008年ドイツ3都市(ボン、ケルン、デュッセルドルフ)にてソロコンサートを行う。2014年作曲家今村俊博とのパフォーマンスデュオ「s.b.r.」結成。趣味は囲碁。

大山まゆみ (チェンバロ)



東京学芸大学教育学部特別教科教員養成課程音楽科専攻ピアノ専修卒業、同大学院修了。ピアノを田辺緑、平田小百合、伴奏法を米元えり、斎藤雅広、チェンバロを岩淵恵美子の各氏に師事。アンサンブルピアニストとして、四国二期会をはじめ、香川フルート友の会、コレギウム・ムジクム高松等多数の団体と共演。著名な声楽家、器楽の演奏家との共演も多い。高松市民文化祭アーツフェスタたかまつ、かがわ文化芸術祭主催事業に出演。高松市美術館エントランスミニコンサートの企画演奏にも携わる。2018年高松市文化賞受賞。デュオル・レープ、トリオルーナ、トリオノアのメンバー。現在香川短期大学非常勤講師。

溝淵加奈枝 (歌:ソプラノ)



香川県高松市出身。国立音楽大学演奏学科声楽専修を卒業。その後フランス・ストラスブル地方音楽院およびドイツ・シュトゥットガルト音楽・演劇大学現代音楽声楽専修を最優秀の成績で修了。現在は情報科学芸術大学院大学(IAMAS)博士後期課程に在籍し、声楽表現の研究と実践を追求している。これまでにドナウエッシンゲン音楽祭、サントリーサマーフェスティバル等の主要な音楽祭に出演。演奏はNHK「現代の音楽」のほか、独・SWRやWDR等でも放送された。Schola Heidelbergでの活動のほか、ロワイヨモン財団、IRCAM、ブリテン＝ピアーズ財団等のプログラムに選出される。2024年には英・ダラム大学にてマスタークラスの講師を務めるなど、国内外で研鑽と発表を続けている。

会場アクセス

